

薬を飲んでくれない！ そんなときは？

食後じゃなくてもいいかも！

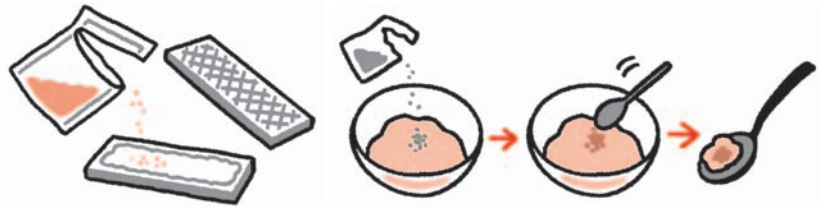
とくに低年齢のうちは、内服時間を守るよりも、飲めるときに飲ませてください。食後を守るべきなのか、医師・薬剤師に確認してください。

寝る前じゃなくてもいいかも！

寝ているのをわざわざ起こして飲ませるのは親子とも負担になります。こちらも飲ませるタイミングを確認してみましょう。
(違うタイミングでも効果を見込める場合がありますが、保険上、指示を寝る前にせざるをえない場合もあります)

粉薬がうまく飲めない

苦味がダイレクトに伝わらないように、甘くコーティングしているものが多いです。混ぜ方や組み合わせによって苦味が増すことがあります。完全に混ぜずに挟んでみるのもよいでしょう。

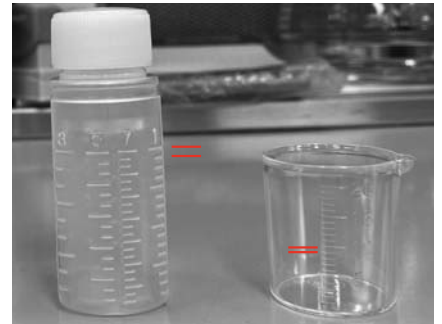


シロップ（水薬）が うまく量れない

「おおよそこのくらい飲めればよい」という薬か、「厳密に取らなければだめ」な薬なのか、確認しておきましょう。厳密に量りたいものは、シリンジ（注射器）などで取ることが多いです。

前にもらった薬と明らかに 量が違うんだけど？

1回量があまりにも少ないときや、目盛り合わないときに、薬局で乳糖や水を使ってかさ増しすることがあります。その基準が薬局ごとに違うためです。成分量は変わりません。



1目盛りはこれくらいです。あまり神経質にならないようにしましょう。

飲みやすくするための工夫

• 食品に混ぜると飲みやすくなることもあります。

このお薬と一緒に飲んだ時、苦く感じにくいもの

- ヨーグルト (イチゴ味など)
- チョコアイス
- 服薬補助ゼリー

一緒に飲むと味が変化し、飲みにくくなるもの

- 乳酸菌飲料
- パルチアイス
- りんごジュース

お薬飲んで、早く元気になってね。

脱水に気をつけて。水分は一気に飲むと吐くこともあるからチビチビでもいいんだよ。

タミフルの指導せん（中外製薬）の抜粋

[<https://chugai-pharm.jp/content/dam/chugai/product/tam/dsyr/guidance/doc/TAM-000091.pdf> (2024/1/10 参照)]

(富野浩充)